

# 室内演奏会

2013. 6. 5 [水] 18:30 (開場 18:15)

Wednesday, 5 June 2013, 6:30 pm (Doors open at 6:15 pm)

東京大学教養学部 駒場コミュニケーションプラザ 北館2階 音楽実習室

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

チェンバロ：マハン・エスファハニ

Cembalo: Mahan Esfahani

Program J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

ゴルトベルク変奏曲 Goldberg-Variationen BWV 988

■東京大学の学生・教職員、および駒場友の会会員・会友限定 ■入場無料 定員120名 全席自由

■事前に予約が必要です。受付開始5月13日(月)

学生・教職員は、駒場博物館の窓口(10-18時)で学生証・教職員証を提示して、入場券をお受け取りください。

駒場友の会会員・会友は、駒場友の会ホームページ <http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/> より予約をしてください。

演奏会当日は、入場券と学生証・教職員証・会員証・会友証をご携帯ください。

This concert is exclusive to students and staff of the University of Tokyo and members of the Friends of Komaba. Admission free. 120 seats available. Reservation is required. Applications accepted after May 13th. Students and faculty may obtain tickets by showing their university ID at the Komaba Museum reception desk. Friends of Komaba members may reserve tickets through our website <http://www.c.u-tokyo.ac.jp/ilovekomaba/>. Please bring your ticket and ID with you to the concert.

# 演奏者プロフィール



## マハン・エスファハニ

Mahan Esfahani

「非凡なる才能」(タイムズ紙)、「繊細にして躍動的」(アーリーミュージック・トゥデイ誌)などと評されるイラン系アメリカ人のチェンバロ奏者、マハン・エスファハニ(1984年生)は、この世代を代表するソロ・チェンバリストとしてその地位を確立してきた。チェンバロ奏者として初めてBBCラジオ3の「ニュー・ジェネレーション・アーティスト」に選ばれ、同じくボルレッティ・ブイトーニ・トラストのフェローシップ賞もチェンバロ奏者として初受賞。

最近の主な活動では、カラビスの「チェンバロ協奏曲」(1975年作曲)をBBCコンサート・オーケストラと、マルティヌーの「チェンバロ協奏曲」(1935)をジューリ・ピエロフラーヴェック指揮BBC交響楽団と、プーランクの「田園協奏曲」(1928)をBBCウェールズ交響楽団と演奏。2010年にはウィグモア・ホールにソロ・デビュー、その演奏の様子はBBCラジオ3で生放送され、デイリー・テレグラフ紙で「ついにチェンバロが日の目を見た——見事な演奏だ」と絶賛された。また、シティ・オヴ・ロンドン音楽祭、ヨーク古楽音楽祭にも登場。プーランクの協奏曲のCDは、2010年5月のBBCミュージック・マガジンで「今月の1枚」に推され、またクラシックFMマガジンでも今も最も注目のアーティストとして特集された。

2011年には、カウンターテナーのジェームズ・ボウマンとウィグモア・ホールで共演。また、マンチェスター・カメラータ、アリオン・バロック管弦楽団(モントリオール)、そしてイングリッシュ・コンサート(ルフトハンザ・バロック音楽祭)を弾き振りした。さらに、アメリカでのソロ・リサイタルのほか、3月にはマレーシア管弦楽団と協奏曲を演奏、アジア・デビューを飾っている。

ソリストおよび客演指揮者として、これまでにイングリッシュ・コンサート、マンチェスター・カメラータ、シアトル・バロック管弦楽団に招かれるほか、BBCプロムス、レーゲンスブルク古楽音楽祭、ゲッティンゲン・ヘンデル音楽祭、ミラノのモーツァルト週間、ニューヨークのメトロポリタン美術館、サンフランシスコ古楽協会等で演奏を行っている。

大統領奨学生としてスタンフォード大学で音楽学者のジョージ・ホールのもとで学び、さらにボストンでオーストラリアのチェンバリスト、ピーター・ワッチオン、ミラノでイタリアのオルガニスト、ロレンツォ・ギエルミに師事。その後英国に移り、オックスフォード大学ニュー・カレッジのレジデント・アーティストに就任。2010年秋には、オックスフォード大学キーブル・カレッジの名誉会員にも選ばれている。

## 駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏(森ビル株式会社初代社長)のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室(講堂)にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。

こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」(駒場友の会)からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1  
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部  
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>  
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>  
Tel. 03-5454-6139 (駒場博物館)  
Tel. 03-3467-3536 (駒場友の会)

